

今上陛下には、平成二十年五月に
山梨県甲州市の笠取山かさとりに登られ
東京都水道水源林を御視察にな
りました。
このお歌は、その折に、多摩川源
流となる、岩から滴り落ちる一滴
一滴の水とその先の小さな水の
流れを御覧になり、その流れゆく
先に思いを馳せられてお詠みに
なったものです。

(宮内庁ホームページより)

岩かげにしたたり落つる
山の水 大河となりて
野を流れゆく
今上陛下

— 宮内庁 平成二十九年歌会始 お題「野」 —

「こま いぬ 狛犬」への誘ひいざな 神道知識

狛犬は靈獣として、神社の神域を守
る役割があると考えられ、獅子と狛
犬が一对で配置されます。
本来は獅子一对で伝来したものが日
本で独自の進化をとげ、狛犬と呼ば
れるようになったと考えられます。
社殿に向かって右側に口を開いた「阿あ
形ぎょう」の獅子、左側に口を結んだ「吽形うんぎょう」
の狛犬が参道を挟んで向かい合うのが
基本です。江戸時代以前の狛犬に
は角があるものが多く、中には角を
削り取った跡のある狛犬もあります。
狛犬のルーツは世界三大文明まで遡
ります。高貴なもの、心霊宿るものを

守護するという意図で、地上最強の
獣である獅子を据えたと考えられ、
その典型がエジプトのスフィンクス
です。
日本には仏教と共に、中国や朝鮮半
島から伝来したとされ、平安時代は
皇居の建物の中に置かれており、木
彫のものが主流でした。
それが天皇ゆかりの神社にも置かれ
るようになりました。その後、武家
の参進などで有名社寺で立派な狛犬
を参道に置くようになり、狛犬は全
国に広がり、各地域で独自の進化を
とげました。



紀元祭(十二日) 本年は、皇紀二六八五年。神武天皇の建国創業をしのび、国の誕生を祝い、国を愛する心を養いましょう。
天長祭(二十三日) 国民の奉祝の万歳で今上陛下のお誕生日をお祝いいたしましょう。